



# 吉備国際大学 河村顕治学長

-48-

吉備国際大学（社会科学部、保健医療福祉学部、心理学部【来年度から看護学部、人間科学部人間科学科】、アニメーション文化学部、農学部、外国語学部）は、現在、第3期中期目標・中期計画（令和5年度、令和9年度）が進行中である。その目玉となるのがブランドビジョンに基づいた「3つの力」の育成である。地域連携教育も盛んで、3キャンパスのシナジー効果を狙った展開をどのようにしていくのか。河村顕治学長に聞いた。

〇オンラインとプラン 「生き抜く力」は様々な人たちに採まれて身に付きます。家庭だけでは足りません。友達や仲間、近所付き合いの中で、常識を知り、ふるまいを学んでいく。タグラインとして「輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。」、プランからこそ本学では、「地域連携・地域貢献」と「国際的知識を自ら学ぶ力、多様な社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばさなければなりません」。

〇オンラインとプラン 「生き抜く力」は様々な人たちに採られて身に付きます。家庭だけでは足りません。友達や仲間、近所付き合いの中で、常識を知り、ふるまいを学んでいく。タグラインとして「輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。」、プランからこそ本学では、「地域連携・地域貢献」と「国際的知識を自ら学ぶ力、多様な社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばさなければなりません」。

〇オンラインとプラン 「生き抜く力」は様々な人たちに採られて身に付きます。家庭だけでは足りません。友達や仲間、近所付き合いの中で、常識を知り、ふるまいを学んでいく。タグラインとして「輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。」、プランからこそ本学では、「地域連携・地域貢献」と「国際的知識を自ら学ぶ力、多様な社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばさなければなりません」。

〇オンラインとプラン 「生き抜く力」は様々な人たちに採られて身に付きます。家庭だけでは足りません。友達や仲間、近所付き合いの中で、常識を知り、ふるまいを学んでいく。タグラインとして「輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。」、プランからこそ本学では、「地域連携・地域貢献」と「国際的知識を自ら学ぶ力、多様な社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばさなければなりません」。

とほ 「国際化」について は、次のように述べる。 「岡山市内の外国語学部では、2年次の留学生の送り出し・受け入れ（スタディー・アプロー）が必修になっています。その後は選抜で海外インターンシップやボランティアも可能です。やはり海外でも人に採まれます。逆には農学部で成長する。しかし、コロナ禍ではそれがストップしてしまいました」と

## 「地域」と「国際」で生き抜く力伸ばす 市と共同で奨学金制度を創設



〇市と創設した奨学金制度 特筆すべきは、奨学金制度である。高梁市と順正学園が共同で創設した特別奨学金制度では、全員の入学者を対象に年間20万円を4年間、返済不要の奨学金が支給される。南あわじ市とは、入学奨励金制度を新設。やはり全ての入学者を対象に、返済不要の奨学金が20万円支給される。さらに、住民票を市に移した入学生については、10万円が加算される。

〇オンラインとプラン 「生き抜く力」は様々な人たちに採られて身に付きます。家庭だけでは足りません。友達や仲間、近所付き合いの中で、常識を知り、ふるまいを学んでいく。タグラインとして「輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。」、プランからこそ本学では、「地域連携・地域貢献」と「国際的知識を自ら学ぶ力、多様な社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばさなければなりません」。

〇市と創設した奨学金制度 特筆すべきは、奨学金制度である。高梁市と順正学園が共同で創設した特別奨学金制度では、全員の入学者を対象に年間20万円を4年間、返済不要の奨学金が支給される。南あわじ市とは、入学奨励金制度を新設。やはり全ての入学者を対象に、返済不要の奨学金が20万円支給される。さらに、住民票を市に移した入学生については、10万円が加算される。



アメリカ・カナダからの研修団と学生との交流

〇山田方谷と福西志計 高梁市には、幕末に備った山田方谷がいる。幕末に活躍し、新島襄とも関係が深く（新島が乗船した「快風丸」は備中松江藩籍）、三島中洲は弟子にあたる。何より方谷の教えを受けた福西志計が、岡山初の女学校で、のちの吉備国際大学に存続することだ」と強く感じました」と力を込めた。 「このように、この地域には誇りにすべき偉人たちがいます。市は直木賞作家の澤田暉子氏にお願いをして、山陽新聞で方谷の生涯を描いた『孤城 春たり』を連載しました。偉人の存在は郷土愛にも通じます。子供たち、学生にはぜひ知って地域の誇りに感じてもらう。また、方谷を観光の目玉にもできれば」と語り、 「世界各国と仲良くしたい。世界平和に貢献したい、それが世界平和につながる、それが創設者・加計勉氏の口癖だったという。地域に根差した国際大学は加計氏の夢